

能代市総合計画

まちづくり提案書

平成23年11月

能代市総合計画市民協働会議

1 取組の改善策

政策1(1)コミュニティで支え合う特色ある地域づくり	提案1 若者が自主的にまちづくりに取り組む環境づくり
提案に至った現状と評価	提案の内容
・指標は横ばいで推移しているが、これからの地域づくりを担うリーダーがいない。 (……ので、)	○若者が今後の能代市の発展のために必要なことを考え、実行できる組織（成人式実行委員会等の活用）の立ち上げや、既存団体への参画等を促し、若者が達成感を得られるようにする。 ○既存団体が、新規組織の立ち上げやリーダーの育成を支援する。 ○行政（市）は、新規組織立ち上げのため、資金、知識、ノウハウ面で支援する。 (……が、……ことを提案する。)
政策1(2)学び合い高め合って地域に活かす生涯学習	提案2 学んだことを地域に還元する仕組みづくり
提案に至った現状と評価	提案の内容
・生涯学習活動等を通じて学んだことが、うまく地域に還元できていない。 (……ので、)	○PTA会員等が学びの場に参加し、世代間交流を図りながら、子どもや家族へ還元する。 (……が、……ことを提案する。)
政策1(3)地域で育み社会で支える子育て・子ども支援政策 1(4)次代を担う子どもの成長を支える学校教育	提案3 子育て中の保護者、地域等との世代間交流の推進
提案に至った現状と評価	提案の内容
・子育て中の女性のストレス対策が必要である。 ・ファミリーサポート事業のさらなる活用が必要である。 (……ので、)	○行政（市）、幼稚園・保育所（園）、子育て中の市民と会員並びに会員同士が信頼関係を深めて、会員からの口コミも活用したファミリーサポート事業の利用件数の増をめざす。 ○地域やファミリーサポートセンター会員等に、子育て中の市民が悩みを相談できる世代間交流が必要である。 (……が、……ことを提案する。)
政策1(3)地域で育み社会で支える子育て・子ども支援政策 1(4)次代を担う子どもの成長を支える学校教育	提案4 様々な年代の市民が交流できる場の確保
提案に至った現状と評価	提案の内容
・子どもと地域、世代間の交流が不足している。 (……ので、)	○行政・学校が、地域に最も身近な学校跡地や学校の空き教室等を活用し地域住民（特に高齢者、障がい者、外国人）と子どもたちが、PTA（保護者）の力を借りて交流できる場を創出する。 ○教職OBの持てる力を利用し、PTAや地域の力を活用して、地域全体で子どもを育てる。 (……が、……ことを提案する。)

政策1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化	提案8 ガイドボランティア講座の開催
提案に至った現状と評価 ・ 檜山崇徳館は、交通・昼食の面で改善が必要である。 ・ 土日対応のガイドボランティアが不足している。 (……ので、)	提案の内容 ○行政（市）、ボランティア会員が、ガイドボランティア講座を開催し、地域活動を支援する。 (……が、……ことを提案する。)

政策1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化	提案9 学習発表会、ふるさと学習を活用した民俗芸能の伝承
提案に至った現状と評価	提案の内容
・民俗芸能は、後継者不足であるが、地域以外の人が入れないのが現実である。 ・指標には横ばいが多いが、少子化は明らかで、今後ますます厳しくなる。 (……ので、)	○行政(市)、関係団体、学校が、学習発表会やふるさと学習を活用し、次代の担い手となる子どもたちへふるさとの良さを継承していく。 (……が、……ことを提案する。)

政策1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化	提案10 民俗芸能関係常設展示館の整備
提案に至った現状と評価	提案の内容
・能代市民俗芸能連合会加盟団体数は、5年間変動がない。 ・後継者不足が課題である。 (……ので、)	○関係団体や行政(市)が、年1度、子どもを含む一般の方に郷土芸能を披露し、地域の芸能に触れる機会を設けるとともに、将来的には郷土芸能関係のものを常設展示できる施設を能代地域にも整備する。 (……が、……ことを提案する。)

政策1(8)ふるさとの誇りを受け継ぐ文化	提案11 檜山城趾整備の推進
提案に至った現状と評価	提案の内容
・檜山城趾の整備計画が進んでいない。 (……ので、)	○名称を「檜山城」ではなく、「檜山安東城」とする。 ○檜山城館跡整備計画委員会を設立する。 ○檜山城館跡の発掘調査を実施する。 (……が、……ことを提案する。)

政策1(9)だれもが気軽に楽しめるスポーツ	提案12 継続的にスポーツ少年団に協力できる体制づくり
提案に至った現状と評価	提案の内容
・スポーツ少年団認定指導者が順調に増え、指標も順調だが、実質的な人数は少ない。 ・子どもの卒業とともに保護者も離れ、協力者不足となっている。 (……ので、)	○体育協会、体育指導員、スポーツクラブなどが連携し、子どもが卒業した後も、継続的にスポーツ少年団へ協力できる体制づくりを図る。 ○中学生が小学生を指導する機会を設ける。 ○学区ごとの小・中学生のスポーツを通じた交流の機会を設ける。 (……が、……ことを提案する。)

政策2(2)雇用を産み出す企業立地	提案16 雇用対策を緊急課題とする官民をあげた組織化
提案に至った現状と評価 ・若い人の働く場がなく、人口減少につながっている。 ・企業誘致は難しい状況にある。 ・地元の企業も衰退している。 (……ので、)	提案の内容 ○行政（市・県（出先機関）・国（ハローワーク））、雇用開発協会、商工会議所・商工会、教育関係者及び金融機関、各業界団体等が、産業創出と雇用確保について、有識者のアドバイスを受けながら、具体的に実現可能な対策を発案、推進するための組織を作る。 (……が、……ことを提案する。)

政策2(3) 力強く持続する農業	提案17 農商工連携・6次産業化による新たな農業の展開と担い手づくり
提案に至った現状と評価	提案の内容
・米価の低迷が続いている。 ・高齢化による担い手不足が深刻である。 ・若者にとって農業が魅力ある産業となっていない。 ・コスト低減による所得増には限度がある。	○農家自らが、作るから売るへと発想を転換する。 ○行政（市）、農業、加工業、販売業、飲食業、観光業が協力して、連携を促進する仕組みづくりを行う。 ○農業、加工業、販売業等が連携し、地域の核となるような特産品開発を行う。 ○行政（市）、関係機関・団体は、農業が若者にとっても魅力ある産業となるような取り組みや農業の担い手育成の取り組みを推進する。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策2(4) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業	提案18 秋田杉の需要創出に結びつく技術開発
提案に至った現状と評価	提案の内容
・木材製品出荷額が減少し続けている。 ・装飾材としての需要は量的限度がある。 ・秋田杉を使用した加工品の代名詞的製品がない（知られていない）。 ・装飾用途外とされる低質材の用途開発が進んでいない。	○木材業界、研究機関（木材高度加工研究所）が連携し、製品加工の代名詞的製品を開発する。 ○林業・木材業界、建築士、工務店、研究機関、行政（市・県・国）が一体となって構造材として使用する技術開発を行うことにより、秋田杉の新たな価値と需要を生み出す。 ○林業・木材業界が、価格競争に負けないような共同出荷体制を整え、行政（市・県・国）が支援を行う。 ○行政（市・県・国）、林業・木材業界が一体となり、川上から川下までの総合的な戦略を練る。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策2(5) まちのにぎわいをつくり出す商業	提案19 商店街の魅力づくりと空き店舗の再利用
提案に至った現状と評価	提案の内容
・空き店舗が増え、にぎわいが作り出せていない。	○商店主が、品数を増やす。 ○商店街、商店主が、商店街の景観づくりをする。 ○家主が、空き店舗の家賃を割り引く。 ○家主、商店主、行政（市）が、気軽に作品展示等を行える空間を確保する。 ○商店主、商店街が、小規模でいいのでイベント、キャンペーンを通年で開催する。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策2(6) 豊かな自然とその恵みを生かす観光	提案20 年間を通じた観光メニューの確立
提案に至った現状と評価	提案の内容
・イベントの観客増による、地域経済の波及効果が見えない。	○観光協会が、主催者、旅行業者、商店主、飲食店業者、生産者の核となり、一体的に取り組む。 ○商店主、飲食業者、生産者が、郷土料理、特産品を提供する。 ○観光協会、旅行業者が、郷土料理や特産品と、自然、史跡、イベント等を組み合わせた、通年の観光ルートを作成する。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策3(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制	提案21 ハザードマップの作成と活用
提案に至った現状と評価	提案の内容
・津波ハザードマップが未作成である。	○行政（市）が、標高や、海岸からの距離、到達予想時間等を記載したハザードマップを作成する。 ○学校が、防災教育を保護者も含め必修とする。 ○行政（市）、自治会・町内会が連携して、花見やまち歩きなどを兼ねたりしながら、避難場所、経路、危険箇所を確認する。 ○自治会・町内会が、地元の商店と非常食や水等の確保に関し協力体制をとる。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策3(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	提案22 排雪場所の確保
提案に至った現状と評価	提案の内容
・除排雪で協力体制は出来上がりつつあるが、排雪場所の確保が支障となっている。	○自治会・町内会が、行政（市）と連携して、地主に交渉し排雪場所を確保する。 ○自治会・町内会が、冬期間そこを管理し、雪解け後に清掃を行う。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策3(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	提案23 公共交通手段の確保
提案に至った現状と評価	提案の内容
・巡回バスの利用者が減少傾向である。	○行政（市）が、逆回りルートの運行を検討する。 ○行政（市）が、アンケート等により定期的にルートを検証する。 ○行政（市）が、高齢者への運賃を助成する。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策3(3) 効果的で調和のとれた土地利用	提案24 中心市街地の活性化
提案に至った現状と評価	提案の内容
・空き店舗率が上昇している。	○行政（県）が、畠町に駐車帯を設ける。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案25 かかりつけ医、かかりつけ薬局の定義や意義のPR
提案に至った現状と評価	提案の内容
・かかりつけ医、かかりつけ薬局の定義や意義が市民に理解されていない。 ・お薬手帳を数冊持っている人がいる。 (……ので、)	○病院・診療所、薬局、行政（市）が、患者（市民）に対し、かかりつけ医、かかりつけ薬局の言葉の定義や「かかりつけ」の意義をPRし、さらなる利用促進を図る。 ○行政（市）は、その啓発を行う。 (……が、……ことを提案する。)

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案26 地域医療体制の再構築を目的とする会議の設置
提案に至った現状と評価	提案の内容
・病院・診療所それぞれの役割分担と連携が、しっかりとできていない。 ・医師が偏在している。 ・救急医療体制が疲弊している。 (……ので、)	○病院・診療所の連携強化や役割分担の推進を前提とし、かかりつけ医・かかりつけ薬局に対する患者の意識向上、救急医療体制の問題点の改善を含め、地域医療体制の再構築を目的とする会議を組織する。会議の組織構成は、病院・診療所（医師会ほか医療従事者）、薬局（薬剤師会）、患者（市民）、行政（市）とし、行政（市）は、会議の情報を逐一公開して患者（市民）の意見を求める。 ○病院・診療所、薬局が、患者情報（カルテ）を共有するシステムを構築、推進する。 (……が、……ことを提案する。)

政策3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	提案27 医師偏在や疲弊している救急医療体制の改善
提案に至った現状と評価	提案の内容
・病院・診療所それぞれの役割分担と連携が、しっかりとできていない。 ・医師が偏在している。 ・救急医療体制が疲弊している。 (……ので、)	○医師会や行政（市）が、医師の偏在や疲弊している救急医療体制の問題点を探り、改善のための調査、研究を行う。また、必要な医師確保のための助成制度や奨学金制度を創設する。 (……が、……ことを提案する。)

政策3(6) 不安のない生活を支える社会保障制度	提案28 介護保険事業計画の見直し
提案に至った現状と評価	提案の内容
・共働き世帯や1人暮らし世帯の増加により、在宅介護が難しくなっている。 ・重度の要介護認定者が入所できる施設が充足されていない。 ・介護保険制度の財源不足 ・年金の受給額不足 ・低所得者の負担軽減が図られていない。 ・入所待ちの人が、ショートステイの“はしご”をしている。 (……ので、)	○行政（市）、施設運営者（民間）、公的施設運営者、利用者により、低所得者の負担軽減を図りながら、民間を含めた施設と利用者の需給関係や問題点を把握し、介護が必要になったときに、必要なサービスや援助を受けられるようしくみ作りをするため、介護保険事業計画を見直す。 ○在宅介護の推進を図るため、新たなサービス体系やしくみを作り、行政（市）が啓発する。 (……が、……ことを提案する。)

政策3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案29 業務委託や指定管理者制度の推進
提案に至った現状と評価	提案の内容
・職員数と事務量の関係、事務効率に適正かどうか疑問が持たれる状況にある。	○行政（市）は、サービス低下にならないことを前提として、民間活力導入を積極的に行い、民間団体や民間企業への業務委託や指定管理者制度を推進する。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案30 市民ファンド（基金）立ち上げによる市民活動への支援
提案に至った現状と評価	提案の内容
・市単独補助金だけでは、行いたい活動に制限が出る。 ・補助金獲得のためのハードルが高い。 ・行財政改革の実施により、補助金縮減の方向にあることが、積極的な市民活動の阻害要因となっている。	○行政（市）、民間団体、民間企業、個人が、市民のまちづくりに対する自発的参加を促すため、市単独補助金の一部と民間からの寄付金等で作る、市民ファンド（基金）を立ち上げ、市民活動への支援を積極的に行う。 ○そのための税制優遇制度や認定NP0などについて、実現に向けた調査・研究を行う。（市民活動支援センター）
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案31 事業仕分けなどによる行政評価の実施
提案に至った現状と評価	提案の内容
・総合計画のまちづくり評価においては、数値に表すことができないものの、指標の数値だけではわからない背景やそこに至った要因があるはずだが、限られた時間でそこまで探るには無理がある。 ・個々の事業について検討・評価しきれていない。	○行政（市）、市民、市民団体により、総合計画市民協働会議だけでは評価しきれない部分まで評価し提案できるシステム、いわゆる“事業仕分け”を実施する。 ○将来的には、事業仕分けなどの行政評価を、市民等で構成する組織または団体に外部委託する。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)

政策3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤	提案32 税収以外の歳入確保の可能性を探る
提案に至った現状と評価	提案の内容
・市の財政基盤の基礎である市税について、その収納率を上げるための手立ては目一杯行っていると思われる。	○市は、税収以外の歳入の可能性を探り、最大限の収入増を図るべきである。
(……ので、)	(……が、……ことを提案する。)